

質問 誰も取り残さないことを念頭に、今後はICTも活用し、児童・生徒がどこにいても学べるようにすることが急務と考える。①質問 学校給食について、教員と児童・生徒の双方で学びをどのように実現していくのか。②質問 学校に来られない児童・生徒への端末の貸出しはできるのか。③教員の負担軽減のため、支援員の配置が必要と考えるが、人材確保が困難な場合の対応についての所見は。

答弁 ①基本的には学校での活用を考えているが、今後1人1台のICT環境を整備していく。双方向学習の有効性は認識しており、研究していきたい。②個々の状況により対応する形に

質問 音楽や絵画、スポーツなどは心と体の健康のために必要不可欠であるが、新型コロナウイルス感染症の影響により、これらの発表の場がなくなっている。市民が様々な文化・芸術・スポーツに触れ、楽しみ、前向きに生活できるように支援を行っては。

答弁 各種団体と連携を図りながら、感染拡大防止対策を講じる中で、活動の成果を発表する場の提供に努めるとともに、活動の再開に向け、可能な限り支援していきたいと考えている。

質問 教育と福祉の様々な施策を連携・共有できるアシマエンスは、本施設を中心に新たな施策を行え

質問 誰も取り残さないことを念頭に、今後はICTも活用し、児童・生徒がどこにいても学べるようにすることが急務と考える。①質問 学校給食について、教員と児童・生徒の双方で学びをどのように実現していくのか。②質問 学校に来られない児童・生徒への端末の貸出しはできるのか。③教員の負担軽減のため、支援員の配置が必要と考えるが、人材確保が困難な場合の対応についての所見は。

答弁 ①基本的には学校での活用を考えているが、今後1人1台のICT環境を整備していく。双方向学習の有効性は認識しており、研究していきたい。②個々の状況により対応する形に

質問 公園のトイレ整備について、①ホルダーやトイレレットペーパーがないところが多くある。試験的でもよいので、ホルダーを付け、トイレレットペーパーを置いて様子を見るべきと考えるが、所見は。②公園内のトイレは和式便器が多く、洋式便器に計画的に変更すべきと考えるが、所見は。

答弁 ①トイレレットペーパーの常備をした経緯があり、防犯、防災上の観点からも困難性があるが、引き続き

質問 命を守る仕組みである見守りは、高齢者が安心して在宅生活を継続していく上での基盤である。①地域において目の行き届かない問題を抱えている高齢者への支援について、対応は。②救急通報システムについて、直接警備会社へ通報され、状況に応じて警備員や消防署の救急隊員が出勤する民間方式を重点的に啓発し、活用の拡充を図るべき。

答弁 ①地域住民などの連携による高齢者見守りネ

質問 命を守る仕組みである見守りは、高齢者が安心して在宅生活を継続していく上での基盤である。①地域において目の行き届かない問題を抱えている高齢者への支援について、対応は。②救急通報システムについて、直接警備会社へ通報され、状況に応じて警備員や消防署の救急隊員が出勤する民間方式を重点的に啓発し、活用の拡充を図るべき。

答弁 ①地域住民などの連携による高齢者見守りネ

文化芸術・スポーツ活動再開に対する支援について

自由民主党昭島市議団 山本 一彦 議員



春から夏へ (エコパーク)

一般質問 (要旨)

市の考える学びとその実現について

みらいネットワーク 林 まい子 議員

安心、安全な街づくりについて

自由民主党昭島市議団 森田 久夫 議員

高齢者が安心して暮らせる街づくりについて

公明党昭島市議団 松原 亜希子 議員

本会議インターネット中継をご覧ください

市議会では、より身近に議会の活動を知っていただくため、本会議の映像をインターネットで配信しています。

昭島市議会ホームページよりご利用ください。

○ライブ中継…本会議の開催中に配信

○録画 中継…本会議の各開催日の概ね5日後の午後(土・日・祝日を除く)から配信

QRコード

令和元年度政務活動費収支報告 (単位:円)

会派名	自由民主党昭島市議団	公明党昭島市議団	みらいネットワーク	日本共産党昭島市議団	令和昭島の会	無	派	
会派の議員数(人)	6(7)※	5	3	3	2	1	1	
交付額	1,540,000	1,100,000	660,000	660,000	440,000	220,000	220,000	
支出額	1,416,907	857,609	690,048	659,184	451,614	222,268	107,135	
(内訳)	調査研究費	1,392,874	614,382	163,070		2,814	600	
	研修費		18,322	6,000		107,642		
	広報費			431,440	639,952	416,680	87,250	23,965
	広聴費	371	9,440	8,849	1,246	8		
	要請・陳情活動費	12,418	5,622					
	会議費							
	資料作成費	11,244	99,398	19,669	8,914	34	13,672	67,730
	資料購入費		110,445	61,020	9,072	34,892	10,890	14,840
人件費								
事務所費								
返還額(交付額-支出額)	123,093	242,391	-	816	-	-	112,865	

※()内の数字は令和元年5月1日の議員数です。